

漁海況予報関連調査

丸山拓也・倉田恵吉・久野正博・笹木大地・福田 遼

目的

本県沿岸の漁況および海況の調査研究を行い、漁海況情報を迅速に漁業関係者に提供すると共に、その情報を解析して漁海況予報を行い、漁業資源の合理的利用と漁業操業の効率化を図り、漁業経営の安定化に資する。

方法

毎月1回、主に調査船「あさま」にて熊野灘19測点および伊勢湾16測点において海況調査を実施した。漁況は主要漁業協同組合から漁獲情報を収集した。収集した漁況・海況データは、漁海況情報としてWEBサイト上で情報提供した。

結果

詳細は令和3年度漁況海況予報関係事業結果報告書(漁海況データ集)で報告するので、以下は概要を記す。なお、漁況については「資源評価調査」で報告した。

1 黒潮流路

黒潮流路は平成29(2017)年8月下旬に黒潮が大蛇行流路となり、令和3(2021)年度も継続した。

黒潮流路は、4月上旬に非典型的A型から典型的A型に移行し、下旬には蛇行南東部が伊豆諸島の東に突出した。また、四国南沖の冷水渦が2度にわたって東海沖へと移動した。5月上旬には再び非典型的A型になった後、中旬に典型的A型になった。下旬には伊豆諸島の東に突出した冷水渦が黒潮から切離した。6、7月は、蛇行の最南下部は遠州灘沖で推移し、蛇行北上部の御前埼～石廊埼沿岸への接近が継続した。御前埼～石廊埼への接近は8月中旬まで続き、下旬にかけて蛇行規模が拡大した。9月は蛇行北上部がS字状に湾曲して御前埼～石廊埼に接近と離岸を繰り返した。10月下旬には蛇行北上部は直線的に北上して石廊埼に接近した状態が継続した。11月は、中旬に潮岬の離岸が拡大し、蛇行の最南下部は遠州灘沖で推移した。蛇行北上部は御前埼沖を中心に流れ、月末に向けてS字が強まった。12月は熊野灘～遠州灘沖で29°N前後まで南下した。蛇行北上部は大王埼に向かう流路となった後、S字を強めた。1月は下旬にかけて西偏した蛇行北上部が熊野灘に接岸した。2月には九州東岸で冷水渦が発達して四国沖の31°Nを直進したほか、熊野灘沖で蛇行南端が切離して蛇行の規模が縮小した。2月上旬に土佐湾沖で暖水渦が形成され、九州東岸へと移った。3月には四国沖と東海沖の冷水渦が東進してW

字状の流路となった。また、熊野灘沖での北上傾向が強まった。

2 熊野灘の海況

熊野灘沿岸の水温は、年度を通しておおそ高めで経過し、黒潮系暖水の影響が強まった時にかなり高めとなった(図1)。

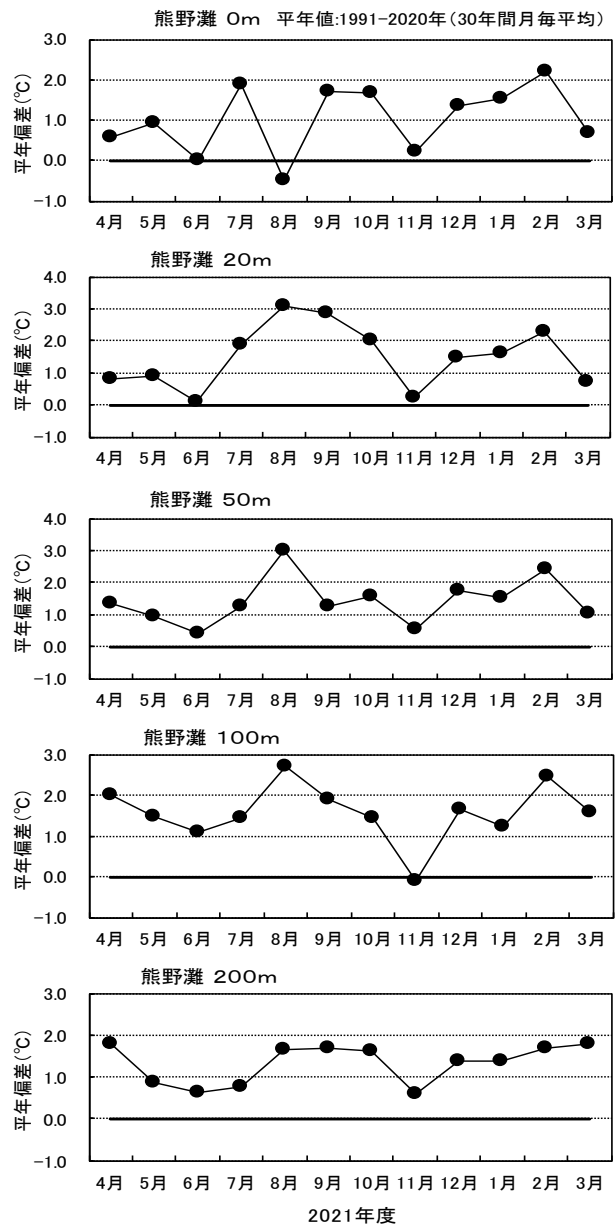


図1. 熊野灘沿岸定線観測における17測点平均水温の平年偏差

4月には暖水渦が熊野灘沖を南下した。その後、5月にかけて弱い暖水波及が続いたが、水温は平年並～低めで推移した。6月は、上中旬に黒潮北上部が遠州灘に接近して内側反流が波及し、暖水波及は7月以降も続いた。8月中旬には沿岸湧昇が発生し、悪天候の影響もあって下旬まで低水温が続いた。黒潮系水の波及は、9月以降も強弱を繰り返しながら続いた。12月は黒潮蛇行北上部が大王埼に接近して暖水の影響が強まった。その後、黒潮が熊野灘から離れたが、1月に黒潮蛇行北上部が再接近して沿岸の内湾にも暖水が進入した。黒潮が離岸した後も、反流となった暖水が沿岸を覆った。2月は御前埼～石廊埼沖の黒潮屈曲部からの内側反流が継続し、熊野灘の水温は平年より高めで推移した。気温が上がらなかった影響で伊勢湾の水温は平年並～下回った。下旬には内側反流が岸沿いに流れた。3月は御前埼～石廊埼沖の黒潮屈曲部からの内側反流が熊野灘に波及するが、下旬にむかってやや弱まった。表面水温は平年並で推移した。

浜島の定地水温は、4月上旬はかなり高め～高め、中旬は高め～平年並、下旬はやや高め～平年並、5月上旬は平年並、中旬はやや低め～やや高め、下旬は平年並～やや低め、6月上旬はやや高め～やや低め、中下旬は平年並～やや高め、7月上旬はやや低め～やや高め、中旬は平年並～やや高め、下旬はやや高め～高め、8月上旬は平年並～低め、中旬はやや高め～かなり低め、下旬はやや低め～高め、9月上旬は高め～やや低め、中旬は平年並、下旬は平年並～やや高め、10月上旬はやや高め～高め、中旬はかなり高め～やや高め、下旬はやや高め～低め、11月は平年並～やや高め、12月上旬はやや低め～平年並、中旬は平年並～やや高め、下旬は平年並～高め、1月上旬はやや高め、中旬はやや高め～かなり高め、下旬は高め～かなり高め、2月上・中旬はやや高め～かなり高め、下旬は平年並～高め、3月はかなり高め～やや高め、中旬はやや高め～かなり高め、下旬はやや高めで経過した。

3 伊勢湾の海況

伊勢湾の水温は、4月は全層でかなり高め、5月は表層で平年並み、底層でやや高め、6月は表層で平年並み、底層でやや高め、7月は表層でやや高め、底層で高め、8月は表層でかなり高め、底層でやや高め、9月は表層で高め、底層でやや高め、10月は表層でかなり高め、10mで高め、底層で高め、11-2月は全層で平年並、であった。3月の表層は高め、10m及び底層はやや高めであった。

伊勢湾の塩分は、4月は表層でやや低め、底層でやや高め、5月は表層でかなり低め、底層でやや高め、6月は表層でやや低め、底層で平年並、7月で表層はかなり低め、底層で平年並、8月は表層で低め、底層で平年並、

9月は表層でかなり低め、底層で平年並、10月は表層でやや低め、底層で平年並、11-2月は全層で平年並、3月は表層ではやや高め、10m及び底層は平年並であった。

DO（溶存酸素濃度）は、4月は表層で平年並、底層で低め、5月は全層で平年並み、6月の表層でやや高め、底層で平年並、7月は表層でやや高め、底層はやや低め、8月は表層で平年並、底層で低め、9月は表層で平年並、底層でやや低め、10-1月は全層で平年並、2月は表層と10mで平年並、底層でやや高め、3月の表層及び10mは平年よりやや高め、底層は平年並であった。

伊勢湾内の底層における貧酸素水塊の分布については、底層では、6月2日に湾中央部で、7月6日には湾内の広い範囲で、8月5日に7月より規模が拡大して湾内の広い範囲で、9月1日と10月8日には三重県の沿岸域に沿って広い範囲で貧酸素水塊が形成され、11月17日には消滅していた。

白子の定地水温は、4月上旬はかなり高め～やや高め、中旬は高め～平年並、下旬はやや高め～やや低め、5月上旬はやや低め～やや高め、中旬は平年並～高め、下旬はやや高め～かなり低め、6月上旬はやや高め～高め、中旬は高め～やや高め、下旬はやや低め～平年並、7月上旬は平年並～やや高め、中旬は高め～平年並、下旬は高め～やや低め、8月上旬はやや高め～やや低め、中旬はやや低め～かなり低め、下旬は低め～やや高め、9月上旬は平年並～かなり低め、中旬はやや低め～平年並、下旬は平年並～やや高め、10月上旬はやや高め～かなり高め、中旬はかなり高め～平年並、下旬はやや高め～平年並、11月上中旬はやや高め～やや低め、下旬は高め～やや低め、12月上旬は平年並～やや高め、中旬はやや高め～高め、下旬は平年並～やや高め、1月上旬はやや低め～平年並、中旬はやや低め～やや高め、下旬はやや低め～平年並、2月上旬と中旬はやや低め～やや高め、下旬は平年並～高め、3月上旬は平年並～やや低め、中旬平年並～かなり高め、下旬は平年並～高めで経過した。

関連報文

三重県（2022）：令和3年度漁況海況予報関係事業結果報告書（漁海況データ集）